

製品グレードの記載もれ

事例の概要

建築工事が順調に進捗し、仕上げの段階で、洗面台の材料承認願を受理しました。内容を確認すると、設計で見込んでいるものと同じ製品ではあるがグレードが合致しないものでした。

原因

設計書と図面とカタログを確認してみるとカタログで価格中位のものを選択しており、専門業者へ見積依頼のうえ設計単価を決定していました。設計書の記載が製品名称のみと

なっており価格帯を特定する情報が欠落していたことが原因です。

対応策

- ・受注者との協議により、設計時に想定していた製品で対応することができました。
- ・工業製品などで品名以外にも型式番号等、価格帯が客観的に伝達されるよう設計書や図面の記載には十分な注意が必要です。
- ・設計図書には、必要な情報が簡潔に記載されていることが大切です。

解説図

